

2006年
第33回

【タイトル】

青空天国いこいの広場 ～きずな～



委員会名

社会開発委員会

委員長

渡邊 一正

日時

5.5

会場

維新百年記念公園

メイン事業

■クイズスクランブル4

組織・予算

■実行委員会（32団体）

人気のあった事業

- 今までになかった女の子も楽しめる企画、食をテーマにした企画を行なった。
- クッキーを作ろう（オール電化などといわれる時代にガスを使ったお菓子作り）
- 新市変わり巻（新市誕生を記念し秋穂のエビやはなっこりーを巻き巻き）

思いが伝わった？

■1市4町の合併後初の開催で絆を考えた。新たに徳地特産品振興委員会の飲食店出展も叶った。国際文化祭やアートフルもあり多忙な1年であったが、手を抜くことなく広範囲となった各小学校へのパンフレット配布を自分達の手で行なった。

思い残しがある点

- ミニSL乗車体験を行なったが、石炭でなくガスSLだったので煙も出ず残念だった。伝えつつもりではあったが、もう少ししっかり打ち合わせすべきであった。
- 例年メインで使っていた第2球技場が使えなかった。

これからの青天に期待すること

維新公園での開催も限界ではないかと思われる。以前のパークロードは天候に左右されたり、道路や駐車場の制限があるため、思い切っけららでの開催に変えることを考えた方が良いと思う。実行委員会組織とはいえ実質青年会議所が行っており、公益の観点からもロム事業とすべき。

2007年
第34回

【タイトル】

青空天国いこいの広場 ～えがお～



委員会名

社会開発委員会

委員長

上野 純一

日時

5.5

会場

維新百年記念公園

メイン事業

■お宝争奪バトルゲーム

組織・予算

■実行委員会組織

人気のあった事業

- 世界一大きな絵本読み聞かせ2007
- 消防署や自衛隊の乗り物系イベント

思いが伝わった？

■テーマであった笑顔は伝わったが、「なぜ笑顔なのか」という点では十分に伝えられなかった。

思い残しがある点

- 子供たちが主役で核となるイベントができれば良かった。

これからの青天に期待すること

これから先、予算面でこれまで以上に厳しくなってくると思うので創意工夫で続けてもらいたい。

2008年
第35回

【タイトル】

青空天国いこいの広場 ～ありがとう～



委員会名

社会開発委員会

委員長

今津 昭悟

日時

5.5

会場

維新百年記念公園

メイン事業

■1000人集まれ！メガバルーンパレー

組織・予算

■第35回青空天国いこいの広場実行委員会

人気のあった事業

■バルーンアート・LED車で放映ぶちエージャー青天ストーリー

思いが伝わった？

■5月5日は、自分の誕生日ということで、ロム全メンバーに祝ってもらえた。

思い残しがある点

■なし

これからの青天に期待すること

予定者の段階で、青天を継続するかどうかの議論があったが決行して、楽しい経験ができた。